

平成31年度 児童・生徒の学力向上を図るための調査結果 課題分析表 (小学校)

教科ごとの「教科の観点」における平均正答率の比較

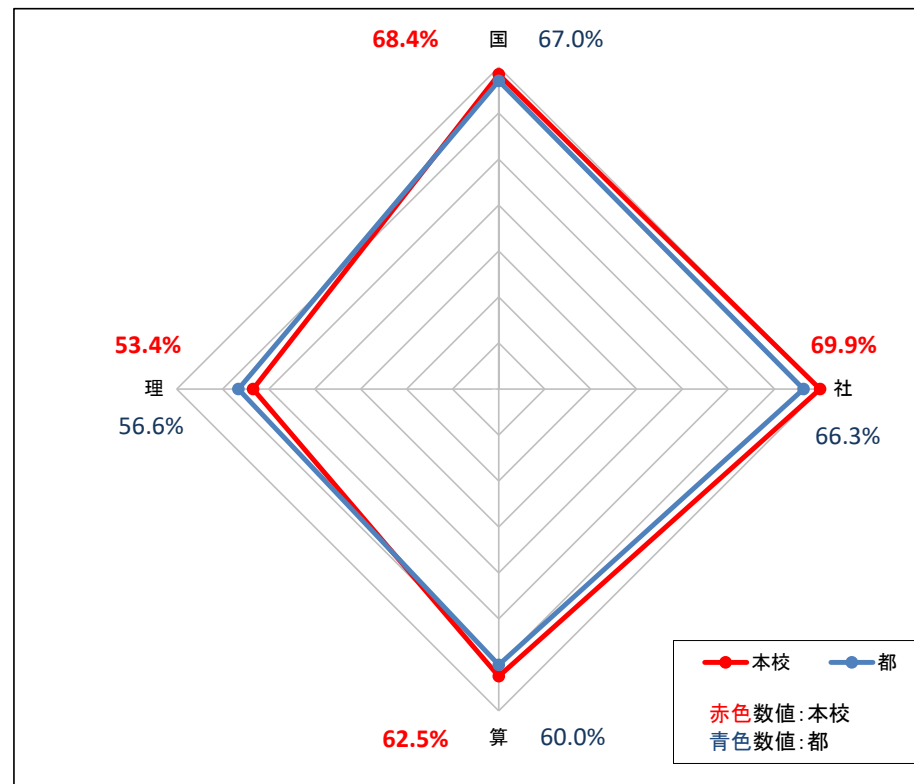
北小岩小学校

国語	教科の観点				教科の合計
	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	
東京都	65.9%	70.9%	67.1%	65.9%	67.0%
本校	70.8%	67.7%	63.7%	71.0%	68.4%
都との差	4.9	-3.2	-3.4	5.1	1.4

社会	教科の観点			教科の合計
	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解	
東京都	63.1%	66.5%	69.8%	66.3%
本校	65.8%	67.7%	80.0%	69.9%
都との差	2.7	1.2	10.2	3.6

算数	教科の観点			教科の合計
	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	
東京都	46.4%	65.2%	67.8%	60.0%
本校	48.5%	69.0%	68.2%	62.5%
都との差	2.1	3.8	0.4	2.5

理科	教科の観点			教科の合計
	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	
東京都	52.9%	66.4%	55.0%	56.6%
本校	48.4%	65.4%	51.7%	53.4%
都との差	-4.5	-1.0	-3.3	-3.2



《都との比較にみる本校の状況》

【国語】
「話す・聞く」「知識・理解・技能」は都平均を上回っており、「書く」「読む」の項目において都平均を下回っている。

【社会】
すべての項目が都平均を上回っており、特に「社会的事象についての知識・理解」においては大きく上回っている。

【算数】
すべての項目が都平均を上回っている。

【理科】
すべての項目で都平均を下回っており、特に「科学的な思考・表現」においては大きく下回っている。

四分位の割合と併せてみても、理科においては正答数が5割を下回っている児童が半数以上おり、学年全体の理科の学習内容の習得において課題が多い。

《授業改善のポイント》

【国語】
「読む力」「書く力」を高めるため、語彙力をつける手立てとして日常的に辞書を活用する。また、文章の内容を要約し、自分の考えや意見を文に表す活動を増やしていく。

【社会】
「観察・資料活用の技能」を高めるため、様々な形の資料に触れられるような活動を増やし、資料の見方・考え方に慣れさせるようにする。

【算数】
基礎・基本のさらなる定着を図るため、授業内や家庭学習において東京ベーシックドリルを活用したり補習教室などを実施するなどし、個々の課題に合わせて学習できるようにする。

【理科】
体験的な活動や課題解決的な学習と合わせて、東京ベーシックドリルを授業や家庭学習で活用し、前学年までの基礎・基本となる知識を確実に習得・定着できるようにする。

《家庭・地域への働きかけ》

学年便りや保護者会で日々の既習事項の定着及び活用する場面において、家庭生活がいかに大切な場であるかを伝え、家庭でも積極的に協力していただけるようにする。

地域の施設を積極的に活用していただけるよう情報提供する。

eライブラリアドバンス家庭学習サービスや東京ベーシックドリルについて改めて周知徹底し、家庭での積極的な活用を促すようにする。